

就職氷河期世代の人生再設計に向けて (参考資料)

平成31年4月10日

竹森 俊平

中西 宏明

新浪 剛史

柳川 範之

就職氷河期世代

- バブル崩壊後の新規学卒採用が特に厳しかった1993年～2004年頃に学校卒業期を迎えた世代
(浪人留年がない場合、2019年4月現在、大卒で37～48歳、高卒で33～44歳)
- 人口規模は、2018年時点で1,689万人、15～64歳人口に占める割合は22.4%
(関係統計の年齢区分上、2018年時点で35～44歳の年齢区分が就職氷河期世代に概ね該当するものと整理)

図1 就職氷河期における学卒未就職者の状況

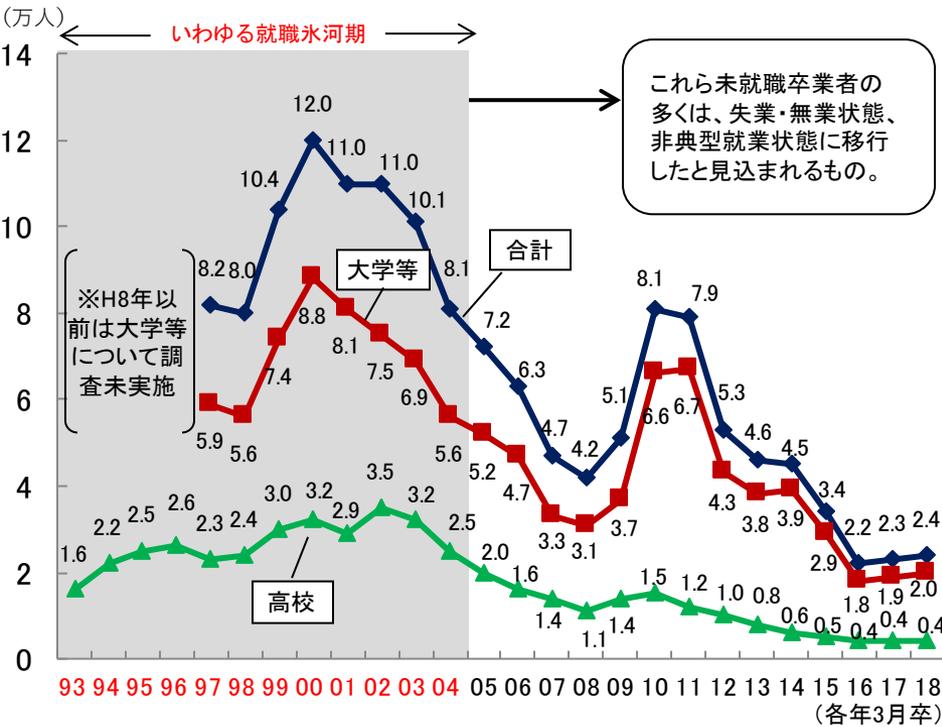
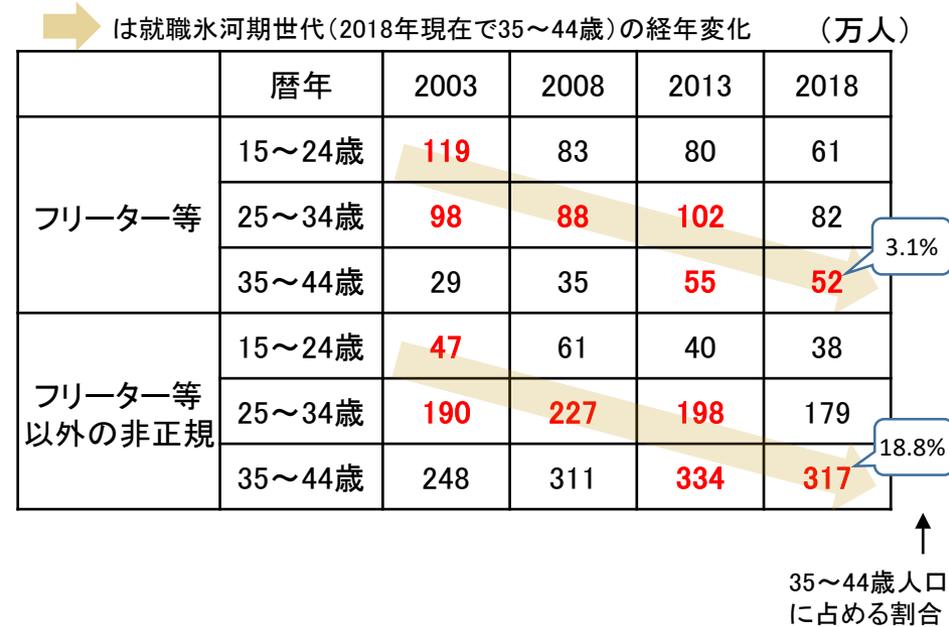


図2 就職氷河期世代の就業状態の推移



- (備考)
- 厚生労働省・文部科学省「大学等卒業者の就職状況調査」、文部科学省「高等学校卒業(予定)者の就職(内定)状況に関する調査」より作成
 - 数値は就職希望者のうち、就職先が決定しない者(大学等は4月1日時点、高校は3月末時点)
 - 大学等の未就職卒業生数は、文部科学省「学校基本調査」から推計した卒業予定者数に「大学等卒業者の就職状況調査」結果(就職希望率、就職率)を乗じて推計した数値

- (備考)
- 総務省「労働力調査(詳細集計)」より作成。
 - フリーター等の定義は、男性は卒業生、女性は卒業生で未婚の者のうち、以下の者の合計
 - 雇用者のうち「パート・アルバイト」の者
 - 失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者
 - 非労働力人口で、家事も通学もしていない「その他」のうち、就業内定しておらず、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」の者
 なお、フリーターは一般的には15～34歳に限定して定義されるが、ここでは35～44歳も同等の概念として整理。
 - フリーター等以外の非正規は、卒業生である非正規雇用者のうち、①以外の者(派遣社員、契約社員、既婚女性のパート・アルバイト等)